

## 2017年度 北河内支部 事業報告書

### 1. 2017年度支部活動の概要

2017年度は社会福祉へ携わる専門職として必要とされる「専門性をより高める」ことを目的とし、援助技術等の向上をテーマにした研修会を実施した。事例検討会も北河内支部の会員による参加を中心に継続的に開催している。

また、北河内地域で行われた介護相談イベントに相談センターとともに相談ブースを出店し、地域に根差した活動を展開した。

### 2. 活動内容

(1) 役員会 9回開催、くすのき介護支援センター、守口市庁舎内会議室にて

日程：4/21、6/16、8/5、9/16、9/30、12/13、3/25

(2) 研修会 3回開催

・第1回 8月5日(土)「本音のやりとりを引き出す～対話型ファシリテーションを学ぶ～」特定NPO法人ムラノミライ メタ・ファシリテーション・トレーナー

原 康子氏@守口市庁舎106号室、参加者 33人

・第2回 9月30日(土)「できる！アセスメントを学ぶ～実践を体験する～」

居宅介護支援事業所 愛の園 管理者 崎山 賢士氏@ルミエールホール、  
参加者 72人

※大阪介護支援専門員協会交野・四條畷・門真・寝屋川・守口・枚方支部共同開催

・第3回 3月25日(土)「総合的アセスメント～丁寧な利用者理解について考える～」

兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松真人氏@ルミエールホール、参加者 20人

(3) 事例検討会 3回開催、寝屋川市産業振興センターにぎわい創造館にて

第1回 6月17日(土) 参加者 16名

第2回 10月21日(土) 参加者 12名

第3回 2月17日(土) 参加者 14名

(4) 出張相談

11月11日(土)、大東市介護フェスタ相談ブース出展 @深野北小学校跡地

### 3. 評価とまとめ

援助技術に特化した研修会の実施は、参加者にとっても新鮮に感じられ、もっと多くの援助技術を学びたいというが多く、企画の方向性としては適正であったと総括できる。

社会福祉士の援助技術は短時間で向上するものではない。援助技術の必要性を「理解するレベル」から「意図的に使うことができる」レベルに高めていくために、必要な研修等の企画に取り組んでいく。